

# 東松山市におけるため池の現状

9期 暮らし・環境学部



後列左から  
金子、桑原、國定、本保、小林、采澤、中井、岩田  
徳永、岡部、大山、清水川、河野

## ■ テーマ選定理由

私達は「きらめき市民大学暮らし・環境学部」に入学以来、地球温暖化を始め、水の自然環境、環境からの地域づくり等様々なことを学びました。

今回の課題研究にあたり、討議を重ねる中、全員が私達の身近で一番大切な水の問題と、昔の里山にみられるような、生物多様性に富んだ環境を残したいとの思いで一致しました。

その中から東松山市にも「ため池」が多く点在し、古くから地域住民の生命線であり、生物多様性を守り、里山文化の中心的役割を担ってきたが、戦後の経済発展に伴い「ため池」の役割が減少し、その実態が忘れかけていることを知り、私達でその実態を調査し、何らかの形でこの貴重な文化財産を残したいという思いと、少しでも水の環境問題を考える一助となることを願い、調査研究することにしました。

## ■ 調査内容

- |                  |              |
|------------------|--------------|
| 1 ため池とは          | 5 ため池の分類と課題  |
| 2 東松山のため池        | 6 東松山のため池10選 |
| 3 私たちの100ヶ所の現地調査 | 7 おわりに       |
| 4 調査結果           | -資料編-        |

■ ため池調査活動記録 (平成23年1月～11月)

活動日	活動内容	備考
1月5日	課題検討着手/リーダー・サブリーダー決定	
19日	テーマ検討会議	
2月1日	ため池・湧水・河川・ホテルの里・文献資料検討	
～末日	テーマの方向性資料収集・研究用予備資料作成	
12日	8期生発表会見学ミーティング	
3月2日	地区別チーム作業班編成	
9日	クラス全員による、共通基礎調査(ため池4ヶ所)	
16日	調査用ため池カルテ原紙作成(地図・航空写真入)	全員による事前調査
23日	課題研究実施工程計画 文献収集→テーマの選定→研究体制づくり→現地調査 報告書作成の流れ整理とりまとめ	
4月17日	1班 大岡地区(4日間、50ヶ所)	現地調査日数合計 =12日 調査ため池数 =102ヶ所
～5月末日	2班 松山、野本、平野地区(4日間、30ヶ所)	
	3班 高坂、唐子地区(4日間、22ヶ所)	
6月1日	調査後の報告データ作成検討	
6日		
22日	具体的なテーマと、分類項目の確定 クラス全員による共通認識のため、意見交換 ため池カルテ100ヶ所完成	
7月13日	ため池の分類 各班の発表用のため池ピックアップ	
22日	クラス全員による、各班ピックアップのため池20ヶ所を 再度現地調査	共通認識再調査
8月3日	22日の再調査を受け、発表用のため池10ヶ所決定 (100ヶ所の東松山市のため池カルテは別に残す) 各班で決定した、ため池の詳細な調査を行う 住民からの聞き取り、お寺、市役所みどり公園課 水利組合等の協力、歴史伝説等	聞き取り調査日数合計 =7日
～24日		
9月7日	各班討議発表意見交換	
28日	報告書発表用カルテ見直し案・1月報告書提出まとめ検討	
10月18日	報告書作成	
26日		
11月9日		
30日	報告書提出	

# 1 ため池とは

## 1.1 ため池の定義

ため池とは、降水量が少なく流域の大きな河川に恵まれない地域等で、農業灌漑用水を確保するために水を貯え取水できるよう、人工的に造成された池のことです。

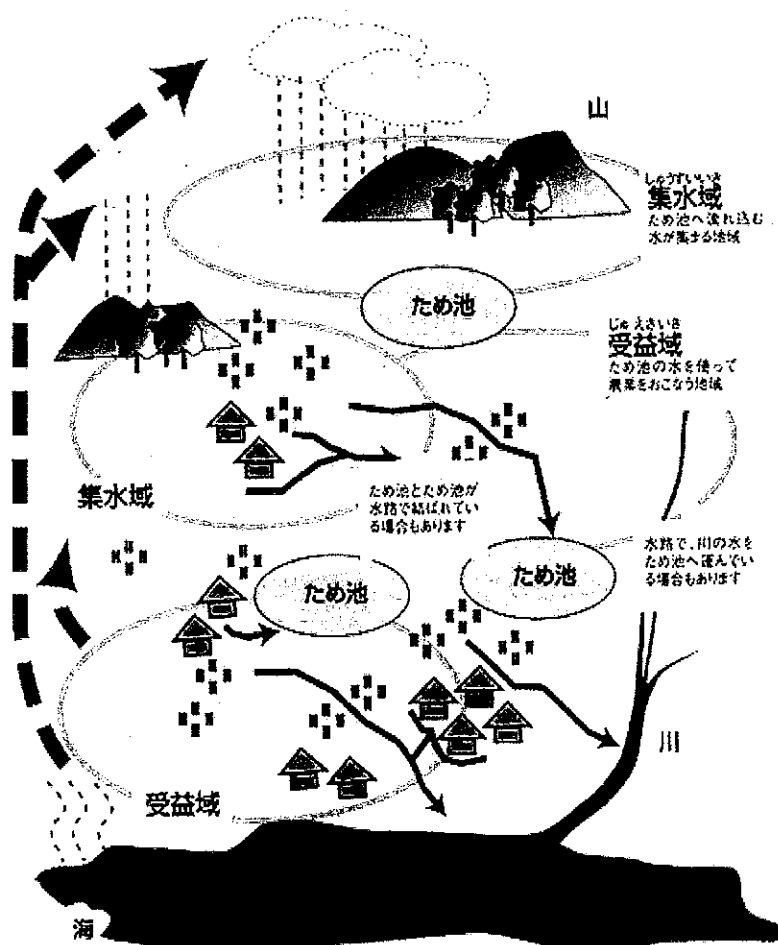
## 1.2 ため池の歴史、分布

ため池の歴史はとても古く、稲作がおこなわれるようになった弥生時代（今から2,000年前）には、すでにため池の様なものが作られていたと言われています。古墳時代（今から1,500年前）大陸から鉄器と土木技術がもたらされると、古墳を作る技術がため池にも生かされるようになり、大きなため池も作られるようになりました。しかし、多くのため池が作られたのは、新田開発が盛んに行われた江戸時代から明治時代にかけてで、今あるため池の多くはこの時代に作られたものです。

我が国のため池は50万個ともいわれ、西日本に多く、兵庫県(1位)、広島県(2位)、香川県(3位)です。埼玉県は下から10番目位であり、近くでは滑川町を中心とした比企丘陵に多く分布しています。

## 1.3 ため池のしくみ、水の流れ

ため池に流れ込む水は、主にため池上流部の集水域に降った雨が集まってきたものです。ため池の水は、受益域で農業用水として使われた後に、水路を通じて河川に流れ込みます。(右図参照)



## 1.4 ため池の形態、構造

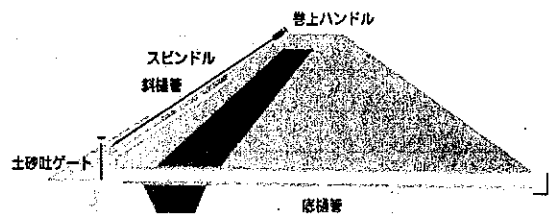
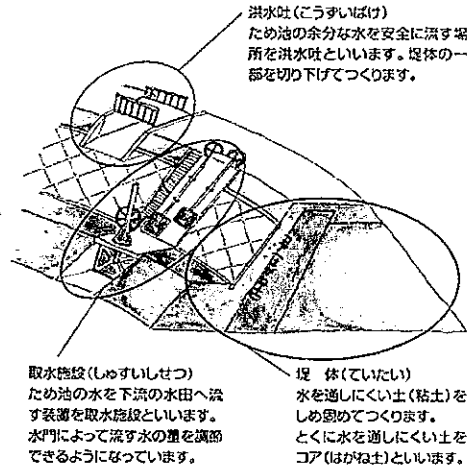
ため池は谷池と皿池に分けられます。谷池は谷の下流側に堤を作り、川をせき止めるように作られた池で、皿池は堤で周りを囲み、底を掘り下げて作られた池です。

ため池は、堤の他に取水施設の樋管(ひかん)、余水吐(よすいばき)等の施設があります。

ため池が作られた初期の頃は、樋管と呼ばれる管が堤を貫通しており、栓を外すことで水を池の外に流せるようになっていましたが、やがて池の底から立ち上がる立樋(たてひ)と、その下から堤を通り外に通じる底樋(そこひ)の組み合わせが主体となりました。

立樋には、いくつかの高さに栓が複数設けられ、水位の低下に伴って適切な高さの栓を開け水を流します。

立樋には垂直な構造のものと、堤の斜面に沿って作られているものと2種類あります。また、台風などによる増水時に堤が破壊されないように、余水吐、別名洪水吐(こうずいばけ)の施設があります。

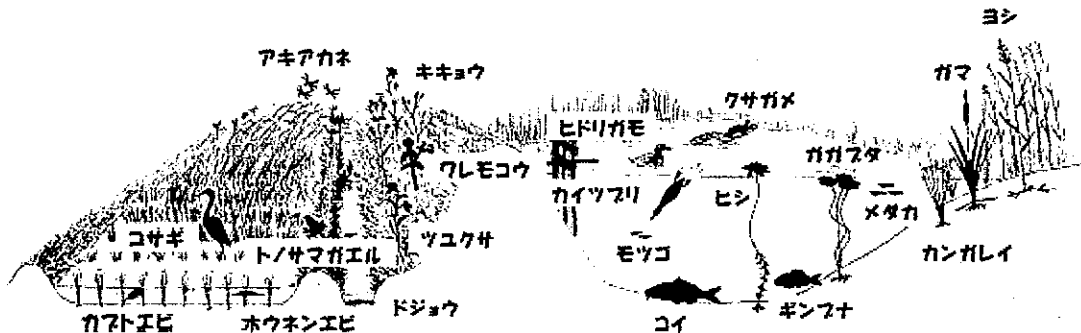


底樋(土砂吐ゲート)

垂直な立樋

## 1.5 ため池の自然

ため池は人工的に築かれたものですが、長い年月を経る間に、ため池固有の自然環境が作られてきました。そして、ため池を結ぶ水路や田んぼなどと合わせて、豊かな自然を育む重要な存在です。水草、水生昆虫、魚類、水鳥等多くの生きものたちにとって、ため池は大切な生育、生息の場を提供しています。



2 東松山のため池

2.1 一覧表

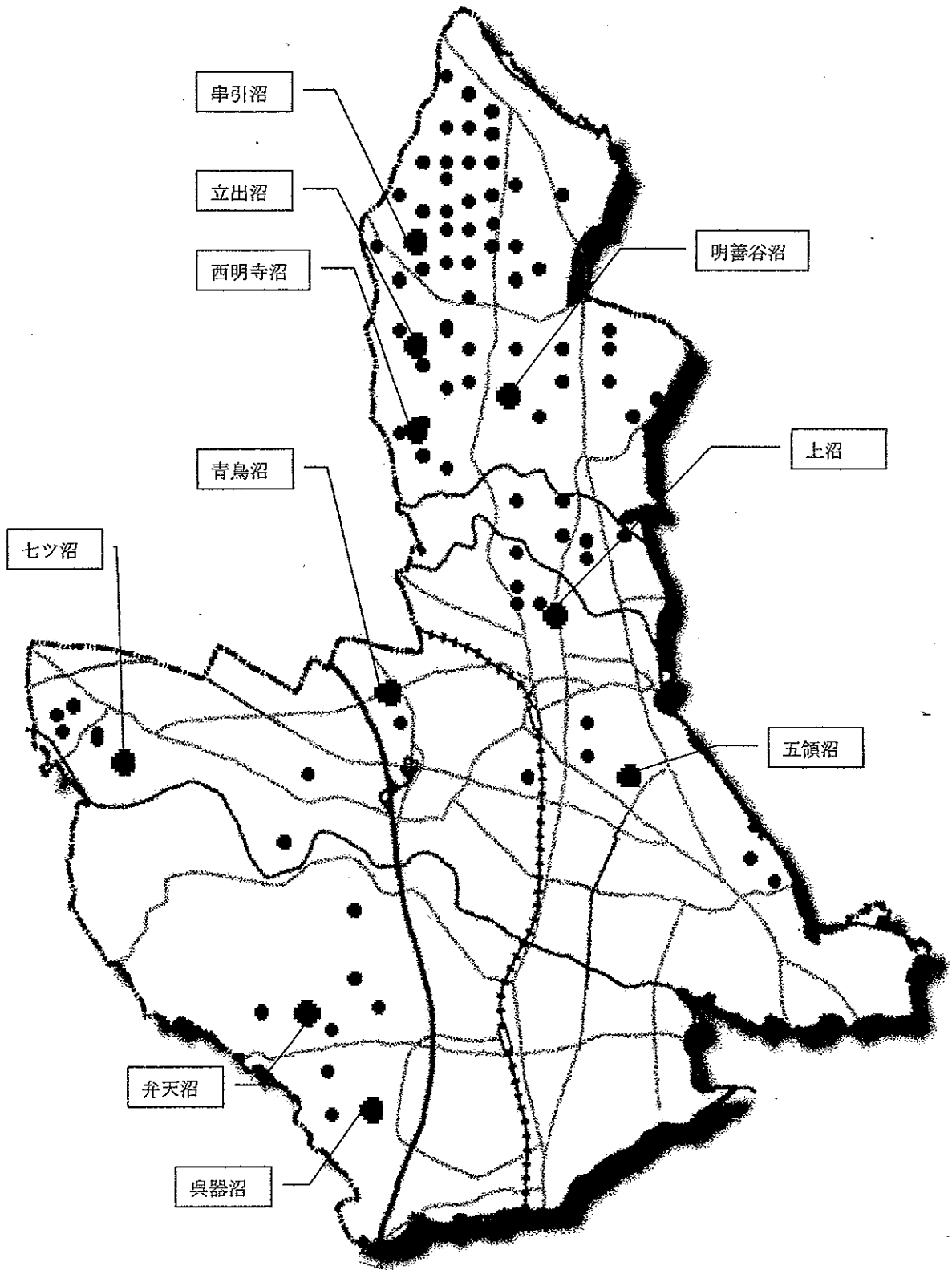
No.	地区	水系	ため池名	所在	貯水量千m3	No.	地区	水系	ため池名	所在	貯水量千m3		
1	大岡地区	九頭龍川(和田吉野川)	薬師堂谷沼	大谷字薬師堂谷	1.6	51	平野地区	角	長土呂沼	東平字長土呂	15		
2			赤熊谷沼	大谷字新屋敷	1.4	52			天皇沼	東平字原山	7.5		
3			薬師堂沼	大谷字東谷	9.6	53			萩原沼	東平字萩原	1.1		
4			新沼	大谷字東谷	2.5	54			新福寺沼	東平字萩原	1		
5			十五谷沼(下沼)	大谷字東谷	1.6	55			関根沼	東平字関根	12		
6			十五谷沼(上沼)	大谷字東谷	1.5	56			打越沼(オッコシ)	東平字松原	1.1		
7			二ツ沼(下沼)	大谷字神光沼	1.8	57			小橋沼(月中沼)	東平字小橋	0.8		
8			二ツ沼(上沼)	大谷字神光沼	1.1	58			新沼	野田字北野	2.1		
9			雷電下沼	大谷字神光沼	1.6	59			西明寺沼	野田字北野	16		
10					アシマ沼(上沼)	大谷字水穴			1.2	60	滑川	市野川	悪戸沼(下沼)
11			アシマ沼(下沼)	大谷字水穴	2.6	61	悪戸沼(上沼)	市ノ川字悪戸	3				
12			天皇沼	大谷字水穴	4	62	小橋沼(大沼)	松山字上高築瀬	5.2				
13			岡沼	岡字前谷	4	63	地藏沼	松山字聖天久保	1				
14			亀ノ甲沼	大谷字亀ノ甲	3.9	64	久保沼	松山字聖天久保	1				
15			甲木(かぶき)沼	大谷字甲木	1.2	65	岩鼻沼	松山字岩花	1				
16			八反沼	大谷字長坂	5.4	66	土用沼	松山字土用山	1				
17			下沼	大谷字長坂	1.2	67	向山沼	松山字向台	1				
18			中沼	大谷字長坂	3	68	於伊勢沼	松山字於伊勢塚	1.2				
19			芳沼	大谷字長坂	1.6	69	上沼	本町1丁目	11.6				
20			新沼	大谷字長坂	1	70	下沼	本町2丁目	20				
21			新谷沼(内手沼)	大谷字中内手	1.7	71	市野川	新野川	新宿沼	新明町2丁目	1.5		
22			城ヶ谷沼	大谷字中内手	3.5	72			百足沼	新明町2丁目	0.5		
23			寺沼	大谷字扇ヶ谷	4	73			観音寺沼	松本町2丁目			
24			片岡沼	大谷字片岡	1	74			五領沼	若松町1丁目	4.5		
25			串引沼	大谷字串引	30	75			薬師寺沼	柏崎字堀ノ内	1.7		
26			二ツ沼(下池)	大谷字一の坪	1.3	76			蓮沼	柏崎字名所	2		
27			二ツ沼(上池)	大谷字一の坪	1.5	77			不動沼	上野本字滝ノ上	7		
28			一の坪沼	大谷字一の坪	7.5	78			根岸沼	古凍字内袋	11		
29			源泉沼	大谷字花の木	8.1	79			都幾川	柳沢川	七ツ沼(一号沼)	上唐字字沼端	5.4
30			血沼(鱒沼)	大谷字主膳寺	5.9	80					七ツ沼(二号沼)	上唐字字沼端	8
31			蓮沼	大谷字主膳寺	3.6	81	七ツ沼(四号沼)	上唐字字沼端			1.6		
32			北の前沼	大谷字北の前		82	七ツ沼(五号沼)	上唐字字沼端			2.9		
33			新田沼	大谷字北の前	2.3	83	七ツ沼(六号沼)	上唐字字沼端			1.2		
34			古竹沼(小竹沼)	大谷字梅ヶ谷	1.6	84	滝下沼	下唐字字滝下			1.5		
35			梅ヶ谷沼	大谷字梅ヶ谷	10.5	85	八幡沼	石橋字若宮前			1.5		
36			鬼衝門沼(九衝門)	大谷字梅ヶ谷	3	86	青鳥沼	石橋字内青鳥			1.6		
37			須ヶ谷沼	大谷字須ヶ谷	7.2	87	中前谷沼	葛袋字中前谷			1		
38			公文沼	大谷字須ヶ谷	1.5	88	深沢沼	西本宿字深沢			2.2		
39			吉ヶ谷沼	大谷字吉ヶ谷	1.5	89	高坂地区	九十九川	薬師沼	西本宿字宿ヶ谷戸	4.5		
40			立出沼	大谷字立出	6.9	90			三角沼	西本宿字米山	2		
41			庚塚(きょうづか)沼	大谷字庚塚	1.5	91			柳沢沼	西本宿字上柳沢	10		
42			明善谷沼	大谷字明善谷	6	92			南新井沼	岩殿字南新井	7		
43			灰山沼	大谷字灰山	1.8	93			弁天沼	岩殿字油免	4.5		
44			笹山沼	大谷字笹山	1.7	94			藤井沢沼	岩殿字藤井	0.8		
45			末田(ばちだ)沼	大谷字笹山	3	95			入山沼	岩殿字入山	5.6		
46			梶久保沼(小沼)	大谷字野田	4	96			入ノ沼	岩殿字入ノ台	6.5		
47			梶久保沼(大沼)	大谷字野田	9	97			傾城沼	岩殿字傾城	2		
48			鴻ノ面沼	大谷字鴻の面	13.5	98			中丸沼	田木字中丸ヶ谷	8		
49			かんさん沼	大谷字梶久保	1.2	99	地獄坊沼	松風台(字地獄坊)	2				
50			裏沼	大谷字鴻の面	1	100	呉器沼	松風台(字呉器ヶ谷)	1.5				

注1)貯水量 県東松山農林振興センター、東松山市史より

注2)子字名 東松山図書館所蔵 東松山字図より

注3)網掛け表示しているものは、私達が選定した東松山のため池10選です

2.2 ため池分布図



※ 私達が選定した10ヶ所のため池を強調表示しています

### 3 私達の100ヶ所の現地調査

#### 3.1 ため池調査方法

文献、行政機関等から情報収集し、ため池リストを作成、調査様式『ため池カルテ』を定め、前記市内のため池をすべて調査しました。また、関係者からヒアリングを行い、実態の掘り下げをしました。

市内ため池 100 ヶ所を 3 班に分かれて、4 月下旬から現地調査に着手しました。調査方法は、調査様式『ため池カルテ』A 4 用紙（右図参照）を定め、現地に赴き、可能な限り調査を行い、写真等も含め記録し整理しました。

右図のカルテは、調査結果を記録したカルテの一例です。

調査内容は、ため池の規模、管理者、利用状況、景観、安全柵の設置の有無、水のきれいさ、ごみの散乱状況、池に棲む生きもの、水辺池の周囲の植物の状況等です。

番号		ため池カルテ		平成23年3月15日作成	
名称	岡沼	所在地	東松山市大字岡中環206	作業番号	大岡地区 1-12
位置図・平面図・ため池写真・航空写真	位置図		航空写真		
	平面図		ため池写真		
ため池概況					
貯水量(m <sup>3</sup> )	4,000	幅員(m)	3.5	流域面積(km <sup>2</sup> )	0.6
管理管	吉田福治(大岡北部土地改良)	連絡先	39-1182	土地権原	
利用状況	水田灌漑用		灌漑受益地(ha)	9	
景観	池の周辺	国道407、水穴バス停、水田、緑地			
	池の周囲	道路、山林(くぬぎ)			
	水ぎわ	砂浜に水鳥がいる、アシ			
	立入り禁止周回フェンス 金網の設置状況	ガードレール			
水質(水のきれいさ)	・水のきれいさ きれい ・ごみの散乱状況 407号沿い、大量の廃材がある ・池の水質、水ぎわの水車の集塵状況 水面にモがある 藻類 アシ類				
池に棲む生きもの	・ブラックバス等の外来種 ・魚類 シラサギ、かいつぶり、かま ・カエル類 ・ガマガニ等 トンボ				
伝統、歴史					
備考	良好に管理されているが、国道407号沿いに廃材が置かれている				

調査カルテ例

### 4 調査結果

#### 4.1 市内ため池の概況

東松山市は埼玉県の中央部に位置し、北に秩父山地から続く比企丘陵地の「ため池」が多く点在する大岡地区、中央に松山地区と平野地区、東西に都幾川が流れる唐子地区、関東平野につながる野本地区の広大な水田地帯、南に大規模宅地開発を始め、ゴルフ場、動物公園、大学がある高坂地区、この様な特徴ある 6 地域の「ため池」の現状を調査しました。

市内におけるため池の地区別分布状況は、丘陵山地部の大岡地区が半分を占め、平地の多い野本地区は少なめです。河川水系別では、大岡、平野地区を流れる角川水系が最も多く、以下、市野川、九頭竜川、都幾川と続いています。

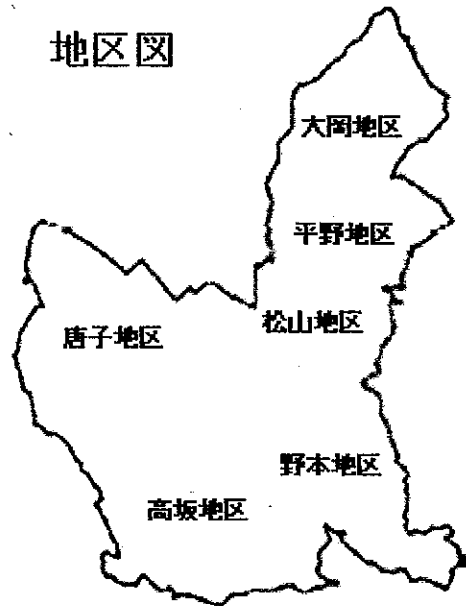
ため池の呼称は、地名の小字名を使用したものが 4 割あり、角川、九十九川水系に多くみられます。また、位置関係から上沼、下沼と呼称、面積からの呼称（八反沼）さらに新沼の呼称は 3 ヶ所あり、天皇沼、二ツ沼は同じ呼称がありました。

ため池の規模では、串引沼の貯水量3万 $\text{m}^3$ が一番大きく、その他、1万 $\text{m}^3$ を超える代表的なため池は、西明寺沼、鴻ノ面沼、梅ヶ谷沼、長土呂沼、七ツ沼等があり、1千 $\text{m}^3$ 程度の小規模なため池が多く存在しています。

#### 4.1.① 大岡地区

大きな河川がなく、丘陵地の特徴的地形です。山間を利用した谷津田が多く、その谷部を堰止めで作った「谷池」がほとんどです。水源湧水は無く、山に降る雨水です。近年は開発に伴う、樹木の減少で、保水能力が落ちて、開発前まで沼の上部にあった、湿地帯が姿を消し、年間を通じての水源の安定供給もなくなったとの話も聞きました。また、長年の沼底への堆積で水深も浅くなっていました。

利用状況も60年前までは農業用として全て利用していましたが、その後の経済発展に伴う社会情勢や食料事情の変化、宅地、ゴルフ場等の開発に加えて、後継者不足で大規模耕作者に集約される傾向にある中、谷津田という特殊条件もあって、耕作放棄する家もあり、ため池の利用は年々減少しています。今回の実態調査でも、水が溜まらず、廃沼寸前のもの、半分埋め立てられたもの、また、産業廃棄物でため池まで行くのが困難なため池等、問題のあるため池も散見されました。反面、堤や水量も良好な池や本来の農業用と兼用し、ゴルフ場の景観、ハザード、魚釣場等、多面的に利用しているため池もありました。



#### 4.1.② 平野地区

都市化が進んでいる地域です。ため池の形態も皿池であり、水源も上流からの流水、雨水、一部に湧水も含まれているため池もあります。また、西明寺沼のように、滑川の水をポンプアップして補給する工夫もしています。利用状況も野田地区は農業用として利用されています。

#### 4.1.③ 野本・松山地区

野本地区は、広大な水田地域であるが、用水は都幾川・市野川が主流で、ため池は少ない地域です。利用状況は農業用水の他に、宅地化が進んでいる地域の五領沼のように、防災機能を持つ調整池として生まれ変わっていったものもあります。松山地区は、上沼・下沼に代表される都市公園化しているため池がある一方、廃沼寸前のため池もあります。



#### 4.1.④ 高坂・唐子地区

高坂地区は岩殿丘陵とそれに続く高坂台地の上であり、隣接する唐子地区とともに、東松山市の南西部に位置しています。この地区は、横断する都幾川を水源とするため池や、こども自然動物公園北部から越辺川へ至る、九十九川を水源とするため池も多くあります。現在高坂地区では、宅地化が進んでおり、ため池の役目が変わりつつあります。唐子地区では、農業用として利用されているが、後継者不足等による影響で、維持・管理が難しくなっています。今回の調査で判明した主な利用目的としては、農業用水や公園としての利用です。公園利用については、純粹に市民の憩いの場を提供しているものの他、調整池としての活用や、史跡を有し、観光地としての役割を担っているため池も、少なからず存在しています。

### 5 ため池の分類と課題

#### 5.1 利用実態からの分類

経済、社会情勢の変遷に伴い、農業灌漑用としての利用実態は地域の諸条件により、変貌を余儀なくされてきました。

東松山市ため池分類表

地区名	個所数	個所数(兼)	農業灌漑用		耕作放棄等による管理不十分、放置		農業以外の多面的利用	
			通常管理	管理不十分	管理不十分	放置	公園(整備)	ゴルフ場、釣り、景観、環境保全池
			ため池名	ため池名	ため池名	ため池名	ため池名	ため池名
大岡	50	57	23	6	11	4	0	13
平野	9	9	2	1	4	2	0	0
松山	14	14	0	0	4	5	3	2
野木	5	5	1	1	0	0	1	2
唐子	9	9	5	0	1	1	1	1
高坂	13	15	0	2	5	1	5	2
合計	100	109	31	10	26	13	10	20

注1) 上記分類は平成23年4月～5月にかけて現地調査をした時の観察によって分類したものである。

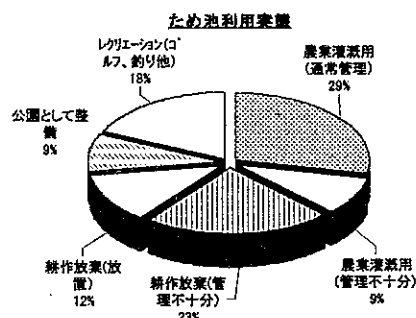
注2) 上記表内における「個所数(兼)」とは、以下ため池について、重複計上しているものである。

農業灌漑用と釣り 城ヶ谷沼、明善谷沼、中丸沼

農業灌漑用とゴルフ場等 串引沼、一の坪沼、梅ヶ谷沼、須ヶ谷沼、鴻ノ面沼

農業灌漑用と公園 弁天沼

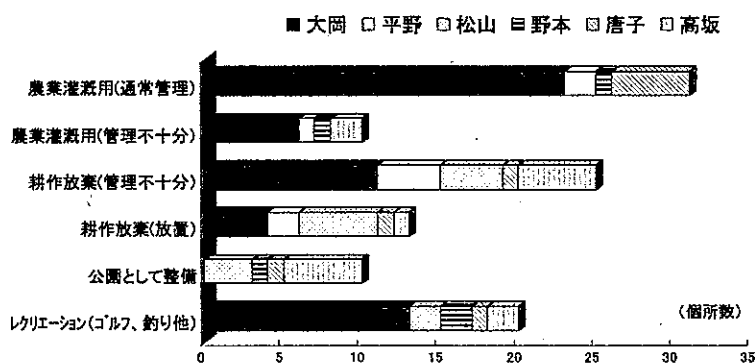
今回の利用状況の調査結果は、「東松山ため池分類表」のとおりであり、ため池分類表を利用状況別、地区別等にグラフで表示しました。本来の農業用灌漑ため池として利用されている数は4割弱に過ぎなく、水田の耕作放棄等により、ため池の管理不十分状態、あるいは管理されず放棄された状態のため池が35%ありました。



市街地内における公園として整備されたため池、住宅団地、動物公園等の開発の伴う公園エリアとして利用されているため池が約1割、残りが、大岡、高坂地区でのゴルフ場のハザードとしての利用、釣り愛好家により魚釣り場としての利用、さらに住宅近傍での憩いに寄与しているため池もありました。

農業用灌漑ため池の地区別特色は、大岡地区が7割と抜きん出ています。特にため池の有効活用をしているところは、大岡第一土地改良区の受益範囲及び、梶久保沼、西明寺沼を利用している野田地区です。

ため池利用実態地区別状況



## 5.2 調査からの課題

社会、経済情勢の歴史変遷により、農業が弱体化し、農業を担う人の減少、高齢化及び都市のスプロール化により、農地が減少し(市内経営耕地水田面積S55年963ha、H17年480haと半減;統計ひがしまつやま)また耕作放棄地が増大してきました。その結果、ため池、里山が荒れ、目を覆う惨状の個所が目立つようになってきました。



水のない皿沼 (大岡地区)

良好な里山保全是、動植物の健全な生存を保ち、人間の営みに豊かな潤いを与えてくれます。特に、住宅地の近傍にある、ため池は親水空間としては最適です。

しかしながら、行政による公園整備として、整備管理されているため池を除いては、管理に懸念、問題があり、改善すべき事項が多く散見されました。



放置されている、「かんさん沼」

また、農村地域の都市化・混在化に伴い、ゴミの不法投棄、水質悪化、外来種による生態系の破壊など問題も生じています。さらに、ため池の老朽化等により危険個所が発生し、決壊等の災害が発生する危険性もあります。

## 6 東松山のため池10選

### 『私たちが10か所を選定した理由と想い』

私たちが3地区に分かれ、市内のため池を調査した中で、是非、観ていただきたい、ため池を10ヶ所紹介します。

どのため池も、多面的に利用されており、自然は動いているという認識やその謙虚な気持ちとが、そこに住む人々の日常生活の中で、培われるものであると、考えます。それこそが、次の世代に繋がる想いだと実感しました。

#### 6.1 大岡地区 (1班：采澤、金子、小林、中井)

##### 6.1.① 明善谷(めいぜんやつ)沼

県道大谷、材木町線脇 東松山市大字大谷字明善谷2244にあり、近代的な樋管を備え農業用として利用する傍ら、ほかの団体(漁業組合)に権利を貸与し、フナ、鯉等の有料釣堀として、釣り

愛好家の人気がある。また、堤を道路として利用し、安全柵もあり管理も行き届いているため池である。



堰堤・立樋・安全柵

尚、小さな祠(ほこら)がため池の脇にかつての面影をしのぼせるかの様に残っている。

かつて、大雨災害により堤が決壊したこともあり、現在は改修され樋管は立樋構造になっている。また、ため池の形状が股引に似ていることから地元の人たちは別名『ももひき沼』と呼称している。

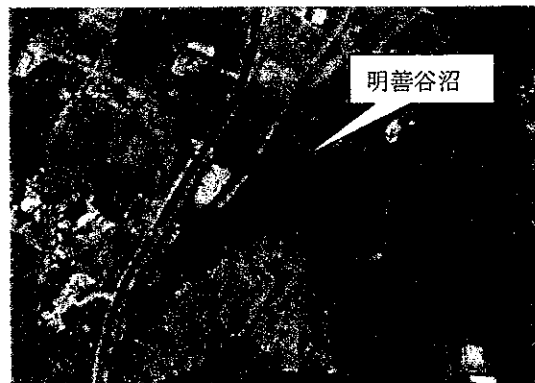
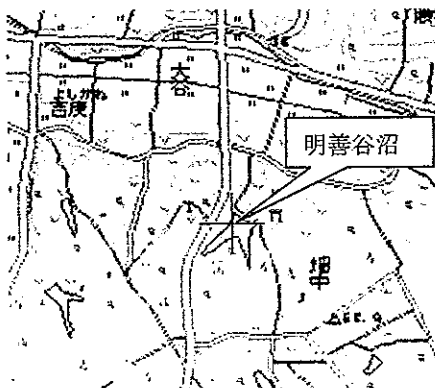


釣りを楽しむ人々・明善谷沼



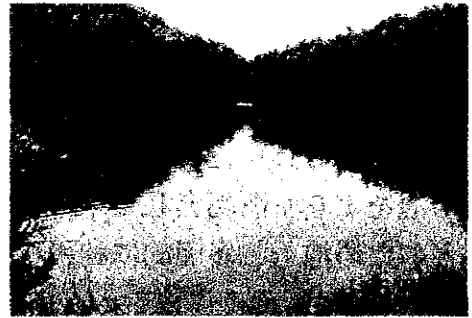
ため池脇の祠

◆ため池諸元；貯水量 6,000 m<sup>3</sup> 堤高 3m 流域面積 0.05 km<sup>2</sup>  
灌漑受益地 6.5ha 管理者：大岡第一土地改良区



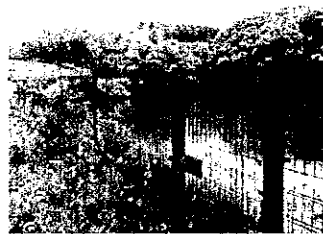
### 6.1.② 立出沼

東松山市大字大谷字立出2472にあり、農業用ため池として活用されている。近くに大谷伝説「秋葉道コース」があるが、道路からは見ることができず、ひっそり佇んでいる。しかしため池を取り囲む、くぬぎ、赤松、なら等の樹木がおい繁り、四季を通じてため池の水面に映る木々の移り変わりは見事で、こんな近くに深山の湖と錯覚するほどの静けさを感じさせる。ため池の施設は、最近改修されたのか、樋管、余水吐、立入り防止柵とも健全で管理が行き届いていた。



堤より望む立出沼

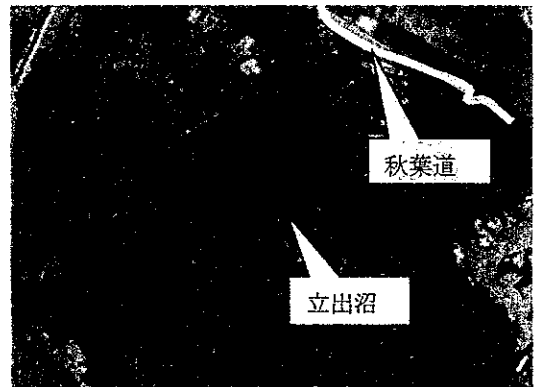
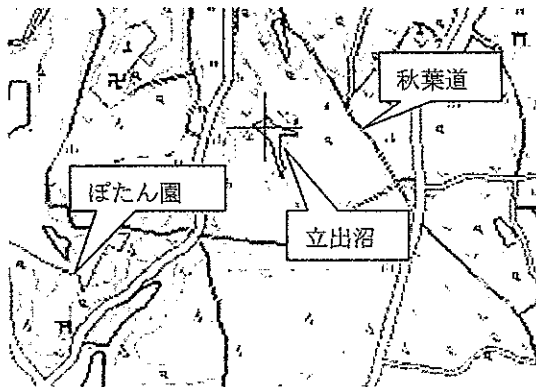
◆ため池諸元 貯水量 6,900 m<sup>3</sup>  
 堤高 3.5m 流域面積 0.05 km<sup>2</sup>  
 灌漑受益地 12ha 管理者：大岡  
 第一土地改良区



堰堤に設置された安全柵



余水吐

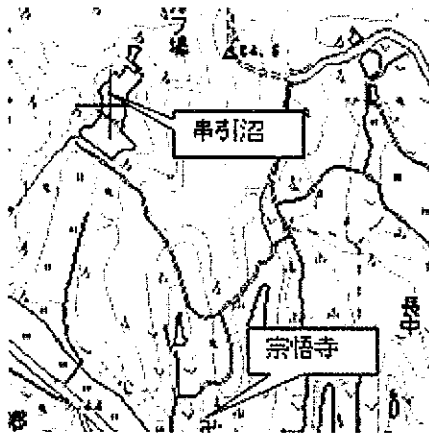


### 6.1.③ 串引沼

東松山市大字大谷字串引356にあり、ゴルフ場の川越カントリーに一部かかり、ため池の上に橋を通しゴルファーが渡り、ため池の上に橋を通しゴルファーが渡り、ゴルフ場内の松もよく手入れされ絶景である。一方本来の農業用水としての近代的な樋管も風景の一つとして見事に調和している。



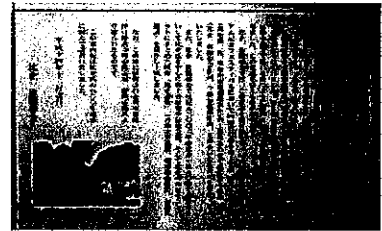
ゴルフ場より望む串引沼



また堤の下には大谷伝説のハイキングコースが通り、串引沼の由来（串引沼と若狭局の悲話）の看板もある。



ため池の水もきれいで自然環境もよく水鳥、トンボ、魚、エビ等も生息しており、季節になるとホタルも見られる等、現代に生き返った代表的なため池である。



ため池も大岡第一土地改良区の整備事業で改修され、本格的な、堰堤、余水吐、樋管が整備され、良好に管理されている。

堰堤下には、土地改良事業の完工記念碑がある。

◆ため池諸元 貯水量 30,000 m<sup>3</sup> 堤高 5.2m

流域面積 0.16 km<sup>2</sup> 灌漑受益地 20ha

管理者：大岡第一土地改良区

□大雷神社



この地は山間の地であるため、古代から水利の便が悪く、五穀の実りも悪かったが、大雷命を祀って以来五穀もよく実るようになり、盛夏干ばつの折には村民を挙げて降雨祈願を行ったとの伝承がある。



大雨乞いは、氏子全員がこぞって行う大掛かりなもので、神職が祈願祭を執行した後、氏子全員が手桶で神井の水を手繰りで斎場に運び、御幣にかける。



神井の水を汲み尽してしまうと、当社の南西500mのところにある串引沼に舞台を移し、中央に注連（しめ）を張った齋場に神職が泳いでいき再度祈願する。雨乞いも、太平洋戦争の激化とともに中止され、戦後は一度も行われていない。

#### 6.1.④ ため池の管理

昔は「沼普請」と称して、沼の水を利用する集落の人たちが協働で沼干し修理を行い守ってきた。現在は土地改良を行った大岡土地改良区内19のため池については世話人、担当役員及び「堰」の管理者を定め、樋管の開閉、堰のごみ除去等の管理を行っている。一方土地改良区を解散した大岡北部地区では水利組合を組織し、日常管理を各区長さんに依頼し管理している。

## 6.2 平野、松山、野本地区（2班：岩田、大山、岡部、桑原）

### 6.2.① 上沼



全景

い。公園内には鎮守橋（眼鏡橋）という石造りのアーチ橋があり、大正4年に建設され松山神社と八雲神社の参詣橋を兼ねていたと言われており昔が偲ばれる。以前は灌漑用水のため池であった。現在も下流域側の農地を灌漑している。

昭和60年に公園として整備されている。春には毎年桜祭りが行われ多くの人達が花見を楽しんでいる。上沼は男沼、下沼は女沼とも言われ、東松山伝説には1569年、上沼に身を投げた「与四郎」と下沼に身を投げた「与四郎の妻」の「女男沼」哀話があり、桜祭りの夜に「夢灯路」が行われ上沼と下沼を結ぶ小路1600メートルに灯ろうが灯される。

街の中心部 本町1丁目にあり周辺は住宅・商業地区で交通量の多い車道に囲まれている。近くには松山神社、八雲神社がある。

沼の周囲にはサクラ・ツツジ等の樹木や草花が植えられており、散歩する人達の目を楽しませている。水面に立つあずまやも美しく、沼周囲の散策コースとしても人気が高

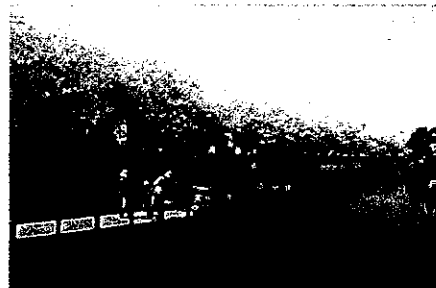


鎮守橋（眼鏡橋）

水源は主に湧水（蛇下り清水）であり東松山市施設管理公社が管理している。  
駐車場は無いが、ベンチやトイレが有り良く整備・管理されている。



夢灯路（東松山市観光協会）



お花見（東松山市観光協会）

## 6.2.② 西明寺沼



全景

野田字北野にあり東松山市の中でも、大きなため池である。ため池の道を隔てて西明寺という大きなお寺がある。遠くには秩父連山が見渡せ、周辺には畑や田んぼが広がり穏やかな風景が広がっている。ため池の周りにはシノタケ・アシ・クズ・フジ・タラノキ・サクラ等の樹木が多く季節によってため池の景観が変化

する。（水利組合の方が当番制で管理しているが、夏場は草刈りが大変との事）

滑川以北の地は大谷に続く斜面で西谷の上流部にため池を造成した。そして、このため池を近くの寺名を取って西明寺沼（西沼）と呼んでいる。

水源は滑川からポンプアップし県道下に埋設した導水管によって西明寺沼に導き、周辺の農地を灌漑しており野田水利組合が管理している。（約 30 町歩）また、東松山消防署の水難救助訓練も行なわれている。



水路



土手の桜

### 6.2.③ 五領沼



全景

若松町1丁目の公園内にある。周辺には若松団地、東松山保健所があり住宅に囲まれている。沼の周りにはサクラ、ケヤキ、アジサイ他樹木が植えられており木陰のベンチでの休憩も心地よい。沼に

はコイやメダカがいてスイレンの花が咲く頃に沼を囲んだ遊歩道を歩くのも楽しい。広場には遊具もあり子供も遊べる公園になっている。

平成7年4月開園。従前は下流域の灌漑用水のため池と雑木林だったが、周辺の開発により灌漑用水としての機能がなくなり、現在ではゲリラ豪雨等の異常出水時には調整池としての機能も発揮している。水源としてはほとんどが雨水であり、一部湧水も流入しているが水を循環できないので水質管理に注意しているとの話。

H7年4月に開園、H8年広場完成、H9年駐車場が完成しトイレもあり管理・整備の良い公園である。東松山市施設管理公社が管理している。



町内盆踊り大会



排水路

## 6.3 高坂・唐子地区 (3班：國定、河野、清水川、徳永、本保)

### 6.3.① セツ沼

東松山市上唐子字沼端にあり、農業用水として活用されている。セツ沼が出来たのは、昔の都幾川の流路跡であり、河跡湖(三日月湖)とも言う。



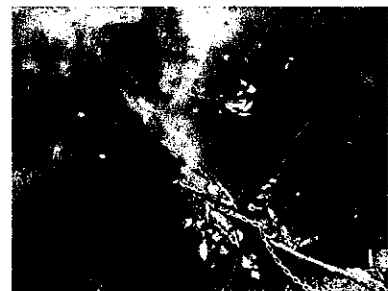
一号沼全景



この七ツ沼に関しては、実際に管理・運用している、上唐子水利組合の方からお話を伺うことができた。それによると現在では、堤防が二ヶ所決壊したため、五つのため池になっており、61名の組合員により管理しているとのことである。このため池の水で、14町歩（四万二千坪。東京ドーム約3個分）の田の水を賄っているが、農業の魅力がなくなったことによる、後継者不足に悩まされており、ため池の維持・管理に関した、いくつかの問題を抱えている。



- 1) ため池底の汚泥が3メートル位積っているが、浚う事ができない。専門業者へ依頼し重機で行った場合、3千万円程度の費用負担が発生する。
- 2) 四号～六号沼の底樋の水抜き作業は、相応の知識と工程を把握した人員が必要だが、確保が困難。
- 3) ため池周辺の草刈も参加者不足で年1回程度の実施に留まっている。
- 4) 国の事業で、水と緑の事業を利用するには、組合員の足並みを揃える必要があるが将来への展望がない。



段樋

立樋の一種。階段状で適切な高さの栓を開け水を流す。

【地域での別名及び各沼の取水構造】

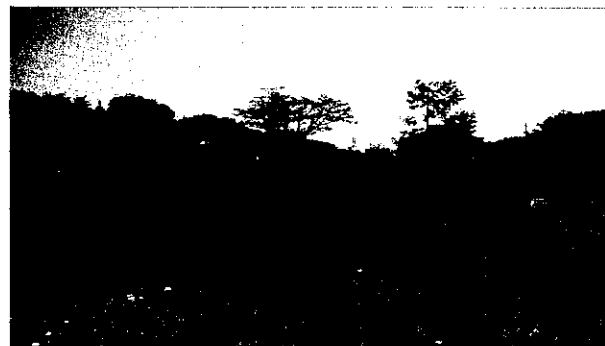
- 一号沼：下沼／段樋
- 二号沼：セメン沼（ふくべ沼）／段樋
- 四号沼：よし沼（中沼）／底樋（水抜きが底にある）
- 五号沼：エダ沼／底樋
- 六号沼：上沼／底樋

→水が不足した場合は、都幾川よりポンプアップで六号沼に補充している。

6.3.② 弁天沼

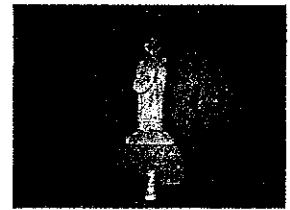
東松山市岩殿字油免にあり、中央に弁天様を祀る島があることから弁天沼と言われている。のどかな田園地帯の中に、朱塗りの橋が美しいため池である。

弁天沼は、別名「鳴かすの池」とも呼ばれ、次の言い伝えがある。



全景

「岩殿山周辺の山に竜が住み着き、真夏に雪、真冬に雷、里に出ては田畑を荒らすため、里人が難渋していたところ、蝦夷征伐の途中だった、坂上田村麻呂が知るところとなり、この竜を退治し、首を切り落とした。そして、山裾に埋め、二度と現れないように大石を置いた。その後池を掘ったが、悪竜のたたりのため、蛙が住み着かなくなったといわれた。そのため、いつしか里人はこの池を『鳴かざる池』と呼ぶようになった」と、いわれている。現在は、周辺の田の水源として利用されているようであるが、毎年、ため池にヒシが大量に繁茂するため、ため池の利用者による除去作業が欠かせない。チョウトンボ、コシアキトンボを含め5種類のトンボが見られるような自然環境の良いため池である。

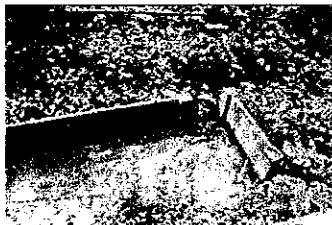


弁天様

### 6.3.③ 呉器沼

東松山市松風台にある、松風公園の奥の雑木林に囲まれた、静かなため池である。

昭和60年4月に、高坂ニュータウン松風公園として告示されたが、それ以前は、呉器ヶ谷と呼ばれていた。自然の原風景を残した情緒のある公園として、ナラ・クヌギ・モミジ・ケヤキ等々の樹木のほか、カワセミ、ハグロトンボ、オタマジャクシの生息も確認できた。ため池全体は淡茶褐色濁（植物プランクトンにより、酸素不足の看板有）だが、上流には、鉄含有量が多い濃赤褐色濁の沈殿物がある。



濃赤褐色の沈殿物



全景

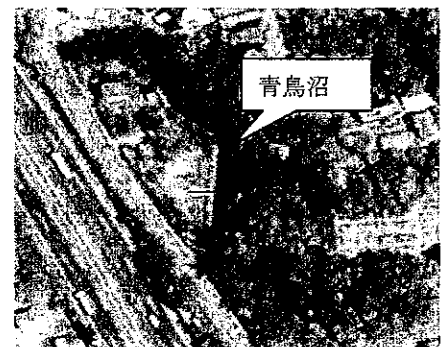


松風公園入り口

### 6.3.④ 青鳥沼

東松山市石橋字内青鳥にあり、現在は、関越道に分断され、それまでのため池の機能が失われてしまっている。平安時代末期に築城された、青鳥城の内堀の名残で、『オタメ池』という、別名もある。これは、青鳥城の「御溜池」だった事に由来すると言われている

このため池の側には、比企・入間地方最大と言われる、高さ3.75メートル、幅70～77センチメートル、厚さ14センチメートルの板石塔婆（虎御石）が建てられている。現在の利用状況は、公園の一部となっており、散歩コースとしても活用されている。



青鳥沼と関越道上空写真

青鳥という名称については、主に、以下の三説があるが 3) の説が、もっとも説得力があるといわれている。

1) 伊古乃速御玉比売神社（いこのはやみたまひめじんじゃ）の鳥居があったためにその名がおこったとする、「風土記稿」の伝承（地名誌）

2) 当地の浄光寺の縁起に、開山覚詮がこの地に来たとき青い鳥がいたので、ここを聖地として寺を建てたとあることによる（地名誌）

3) 「おお（大）・とり（取）」で都幾川に浸食されている地形を表すということになり、「源平盛衰記」にある頼朝が武蔵国月田川（都幾川、昔はこの辺りまで槻川と呼んでいた）のほとり、青鳥野に陣を取ったという史実に適合する。



板石塔婆（虎御石）

## 7 おわりに

### 課題研究を終えて

私達くらし・環境学部は、全員で1つの課題を研究することで始まりました。はっきりしたテーマを決めず、色々意見が出た中で、環境の立場から水の大切さという観点で東松山市のため池を、自分達の目を見て調査しようということになりました。文献を調べてみたら、市内に約100ヶ所あるとのことでしたので、全員を3班に分け、それぞれのため池を我々が作成した独自の調査カルテを元にそれに沿って気候の良い4月～5月に調査を終えました。

その後、色々な分野より検討を加えた、ため池調査カルテを作成することが出来ました。調査の結果、市民の公園として立派に整備されたため池や、多少人手が入り、環境が少なくとも保たれているため池、また、全く人手が入った様子のない廃沼と化したものなどがありました。その中でも、ため池本来の目的である農業灌漑用に使われている、すばらしい環境のもとに整備されているため池もあり、私達も気持ちの晴れる時間を持つことが出来たこともありました。

約10ヶ月にわたる市内全域の調査の期間、クラス全員で自分達のペースでまた歩いて廻ることが出来、楽しい時間を過ごすことが出来た事は大変良い思い出になり、全員感謝の気持ちを持ったと思います。そしてため池のお近くにお住まいの方々のお話も大変参考になりました。

最後になりましたが、課題研究にご指導、ご協力いただきました皆様に心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

■資料編（出典）

参考文献、協力機関、協力者等

<b>■法令・行政施策</b>		
第2次東松山市環境基本計画	H23年4月	東松山市
水辺再生100プラン（県内全域 川の再生）		埼玉県
農地・水・環境保全向上に向けて		農林水産省
東松山市都市計画マスタープラン		東松山市
埼玉の神社		埼玉県神社庁
統計ひがしまつやま		東松山市
<b>■地図関連</b>		
東松山市 地形図（白図）		東松山市
洪水ハザードマップ		東松山市
管内図（東松山県土整備事務所・農林振興センター他）		
<b>■調査・計画作成の手引き</b>		
里地里山保全再生計画作成の手引き	H20年3月	環境省自然環境局
健全な水環境系構築のための計画作りに向けて （環境省・国土交通省・農水省・厚生労働省・経済産業省）		関係5省連絡会議
<b>■参考報告書</b>		
東松山市史	S58年	東松山市
農水省と環境省の連携『田んぼの生きもの調査』 「ため池ーその多面的機能と活用ー」農林統計協会		内田和子著
<b>■参考文献</b>		
水と緑と土		富山和子著（中央公論社）
東松山の地名と歴史		岡田潔著（まつやま書房）
<b>■協力機関</b>		
東松山市（環境産業部、都市整備部、建設部）		
埼玉県・東松山農林振興センター（農村整備部）		
埼玉県・東松山県土整備事務所（河川砂防部）		
埼玉県・東松山環境管理事務所		
大岡第一土地改良区		

■協力者

大岡第一土地改良区 理事長	福島峰雄様
大岡北部水利組合 組合長	吉田福治様
上唐子水利組合	石川澄貞様
野田水利組合	高橋正夫様